



西の明星

学校教育目標「優しく 賢く 逞しく」～今が大切～



ふじみ野市立大井西中学校
学校だより 第5号(8・9月号)
令和7年8月25日 発行
校長 榎本 崇

迷ったときは…

二学期が始まりました。始業式では、生徒たちの明るい表情を見ることができ、こちらでも元気もらっています。部活等で練習に励んだ生徒は一段と逞しくなり、体も大きくなっていました。3年生は、自分の進路に向けて準備を進めていたことでしょう。2学期は、生徒会役員選挙にはじまり、合唱祭や50周年記念式典等、大きな学校行事が目白押しです。また、日々の授業も充実・深化するのが2学期です。生徒にとっても教師にとっても、忙しい中でもやるべきことをしっかり見据えて教育活動を進めていきます。

以前、私が仕えた上司は、「迷ったらめんどくさい方をとれ。」と毎日のように言っていました。仕事は、与えられた時間の中で効率よく行うのは当然のことです。そんなことは上司も分かった上で言っています。ただ、人がAかBかで迷うときは、たいてい自分の都合を軸に考えていることが多いのです。私のことで振り返ってみれば、「資料を作れば確実に、口頭で済ませようかな?」とか「電話を一本入れておけば丁寧だけど、通知を見れば意味は通じるかな?」といった具合です。忙しいときほど、行動する軸が自分の都合に寄ってしまいます。

コストパフォーマンス（コスパ）やタイムパフォーマンス（タイパ）を重視する世の風潮からすれば、管理職が「めんどくさい方をとる」なんてことを公言するのは、極めてふとどきではないかと思われるかもしれません。効率的な働き方を示すのが正しい管理職の在り方であることも自明の理です。「めんどくさい＝無駄に時間がかかる＝非効率的」と捉えれば、私の言っていることは批判されても仕方ないでしょう。

「めんどくさい方をとる」とは、相手に心をくだくことだと理解しています。そして、その姿勢が相手に伝われば、そこに信頼関係が生まれます。信頼関係が生まれると、ものごとはスムーズに進みます。たった一枚の資料作成に手を抜いたり、たった1分で終わる電話をしなかっただけで、後の処理が何十倍も大変だった経験をさんざんしてきました。

これは、仕事に限らず、子育てにも当てはまると考えます。仕事も家庭も子育ても、全てに全力を注ぎ切れることは、肉体的にも精神的にも厳しいですが、親が自分の忙しさを理由に、子供の話をよく聞かなかったり、なんでも子供任せにしているはいないでしょうか。私は、そういう時期がありました。私は、自分の忙しさからめんどくさいことを遠ざけ、その言い訳として、子供の自立を促すという論理のすり替えをすることで自分を納得させていたのです。

あるお寺の住職がこんな話をしていました。「忙しいとは、心を亡くすと書きます。忙しいと言葉に出すことは、相手に対して心を向けていない証拠です。ですから、私はどんなに忙しくても、その言葉は口にしません。あえて、暇ですよ。だから、なんでもできますよ、と言うようにしています。」

やるべきことが目の前に山積していることは、それだけ自分自身が求められていることであり、ありがたいことだと住職は話していました。心を亡くし、相手を遠ざけることは、自分の幸せにも相手の幸せにもつながらないということです。迷ったときにめんどくさい方をとる、ということも同じ根っこを持つ考え方です。

今の時代、暇な人なんていないのかもしれませんが、しかし、それは「めんどくさい」ことを受け入れる心の在り方を試されているようにも思えます。相手の状況を想像し、相手に対して心をくだくことが、仕事でも子育てでも必要なことだと強く感じています。

第63回埼玉県硬筆中央展覧会

入選者

【特選賞】

2年 S・A

【優良賞】

3年 O・A

第66回埼玉県吹奏楽コンクール

入賞

【中学生 A の部】

銅賞 大井西中学校吹奏楽部

50周年記念ロゴが決まりました

生徒たちから作品を募集し、投票を行った結果、2年生の U・H さんの作品が当選しました。おめでとうございます。

Uさんは、この作品を作るにあたり、西中の校章やキャラクターを配したこと、レインボーはみんなの個性を表現していること、などの工夫したそうです。

このロゴは、これから色々な場面で使わせていただきます。

惜しくも当選しませんでした。多くの生徒たちが作品を応募してくれました。また、投票に協力してくれた生徒の皆さんにも、あらためて感謝します。ありがとうございました。



学年担任制の試行について(お知らせ)

今年度、本校は学校課題研究として「学年担任制」について研究を行っています。すでに、本県においても先行事例があります。

学年担任制は、クラスの担任を固定化することなく、多くの教師の目で生徒を見守り指導します。11月に2週間ないし3週間を試行期間として取り組む予定です。詳細については、後日お知らせいたします。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

①学年担任制のねらい

- ・より多くの目で生徒理解できるようにする。
- ・生徒の主体性を育てるようにする。
- ・指導の統一を図れるようにする。

②学年担任制による効果

- ・複数の教員で学年全体を担当することにより、生徒の安心感、いじめ問題の早期発見・早期対応につながる。
- ・複数の教員がそれぞれの視点から生徒を見ることが、より多角的に生徒理解でき、きめ細やかな対応につながる。
- ・生徒間でトラブルがあっても、学年で対応し、より適切な指導が可能となる。

8・9月の行事予定

25	月	始業式、安全点検
26	火	短3 避難訓練、ドローン撮影
27	水	45分授業、給食開始 二者面談
28	木	45分授業、二者面談
29	金	45分授業、二者面談
30	土	
31	日	
9/1	月	3年入間東部統一テスト 二者面談
2	火	45分授業、二者面談
3	水	1年校外学習
4	木	市内英語弁論大会
5	金	3年校外学習
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	生徒朝会(壮行会)
10	水	生徒会役員選挙・演説会 安全点検
11	木	
12	金	学校朝会(任命式)
13	土	
14	日	
15	月	敬老の日
16	火	プール
17	水	新人大会(バレーボール)
18	木	新人入間東部大会
19	金	新人入間東部大会
20	土	新人入間東部大会
21	日	
22	月	新人入間東部大会(予備日)
23	火	秋分の日
24	水	
25	木	新人陸上大会市予選会 むさしの桔梗会議
26	金	3年進路説明会
27	土	入間地区代表決定戦
28	日	入間地区代表決定戦(予備日)
29	月	
30	火	補習
【8月の生活目標】		
○学校生活のリズムを取り戻そう		
【9月の生活目標】		
○大井西中のルールを再確認しよう		
○きれいな学習環境をつくり出そう		